

【】身のまわりの物質とその性質

【】金属

[物体と物質]

[問題 1]

次の各問いに答えよ。

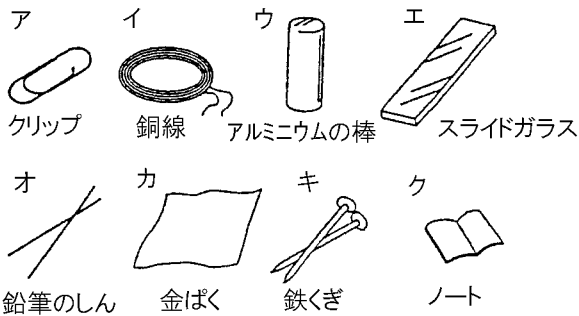
- (1) ものを、外見から判断する場合を何というか。(例：
コップ、ペットボトル)
- (2) ものを、つくっている材料から判断する場合を何と
いうか。(例：ガラス、プラスチック)

| |
|-----|
| (1) |
| (2) |

[金属の性質]

[問題 2]

次の各問いに答えよ。



| |
|-----|
| (1) |
| (2) |
| (3) |
| (4) |

- (1) 金属に共通する性質を 3 つあげよ。
- (2) 物質のうち、金属でないものを何というか。
- (3) 電気が流れるものはどれか。すべて選び、記号で答
えよ。
- (4) 磁石に引き付けられるものはどれか。すべて選び、
記号で答えよ。

| |
|--|
| |
|--|

[問題 3]

固体の物質 A~D がある。これらの性質を調べるため、次の実験を行った。ただし、A~D は、鉄、ガラス、木、アルミニウムのいずれかである。

[実験 1] 電気を通したのは B, D であった。

[実験 2] A を燃やすと、二酸化炭素が発生した。

- (1) 物質 A~D のうち、ガラスはどれか。記号で書け。
- (2) 物質 A~D のうち、金属はどれとどれか。記号で書け。
- (3) (2)の 2 つの物質を区別するには、どのような方法があるか。簡単に書け。

(1)

(2)

(3)

[問題 4]

次の各問いに答えよ。

- (1) 金属に共通した性質でないものは、次のア~エのどれか、記号で答えよ。
ア 電気をよく通す。
イ 磁石につく。
ウ みがくと特有の光沢が見られる。
エ 熱をよく通す。
- (2) 金属は共通して「みがくと光る」という性質をもっている。これを何というか。
- (3) 電流が流れる物質の中には金属でないものがあるが、その例を 1 つあげよ。

(1)

(2)

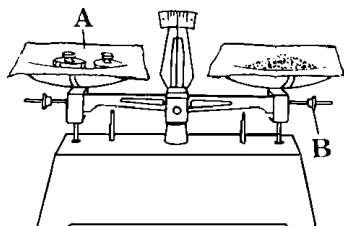
(3)

【】物質の密度

[上皿てんびんの操作]

[問題 5]

上皿てんびんの操作について、次の各問いに答えよ。



- (1) 上皿てんびんは、振動の少ない(①)なところに置き、針が左右に(②)ふれることを確かめる。つり合っていないときは B の(③)で調節する。次にはかろうとするものを一方の皿にのせ、他方の皿に少し(④)と思われる分銅をのせる。また、片づけるときは皿を(⑤)おく。
- (2) 一定量の薬品をはかりとる場合、両方の皿にあらかじめのせておく図の A は何か。

(1)①

②

③

④

⑤

(2)

[問題 6]

次の各問いに答えよ。

- (1) 右ききの人が、ある物体の質量をはかるためには分銅は右にのせるか、左にのせるか。
- (2) ある物体が、50g、2g、500mg、100mg の分銅をのせたときつりあった。この物体は何 g か。
- (3) 正しい操作を行った場合、(2)で最初のにせたのは何 g の分銅か。また、最後にのせたのは何 g の分銅か。

(1)

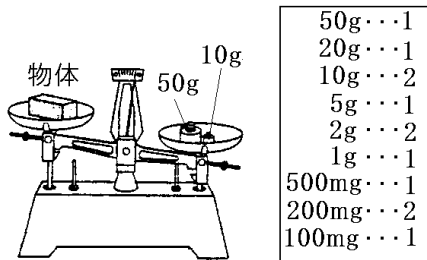
(2)

(3)最初：

最後：

[問題 7]

次の図は、上皿天びんで物体の質量をはかったときの途中の状態を示したものである。



- (1) 図の 50g の分銅と 10g の分銅のうち、先に皿にのせたのはどちらか。
- (2) 図の状態から考えて、この物体は(①)g よりは重く、(②)g より軽いことがわかる。
- (3) 図の状態のとき、次にどのような操作をすればよいか。
- (4) 分銅をあつかうときは何という器具を使うか。

(1)

(2)①

②

(3)

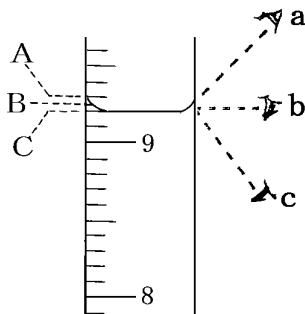
(4)

[メスシリンダーの操作]

[問題 8]

メスシリンダーの操作について、次の各問いに答えよ。

- (1) めもりは、図の A, B, C のどれを読むか。
- (2) 目の位置は a, b, c のどれが正しいか。
- (3) めもりは目分量で1めもりの何分の1まで読みとるか。
- (4) 図の液の量は何 cm^3 か。



(1)

(2)

(3)

(4)

[密度]

[問題 9]

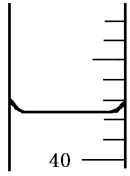
次の各問いに答えよ。

- (1) 密度は、物質 1cm^3 あたりの()であらわす。
- (2) 水 100g の体積は 100cm^3 であった。水の密度はいくらか。
- (3) 体積が 5.0cm^3 、質量 13.5g のアルミニウムの密度はいくらか。
- (4) 銅の密度は 8.9g/cm^3 である。 10cm^3 の銅の質量はいくらか。
- (5) 空気の密度は、 0.0012g/cm^3 である。では、 1m^3 では何 kg になるか。
- (6) 質量が 275.1g の鉄のかたまりがある。このかたまりの体積は何 cm^3 か。ただし、鉄の密度は 7.86g/cm^3 とする。
- (7) 物質を密度で区別することはできるか。

| |
|-----|
| (1) |
| (2) |
| (3) |
| (4) |
| (5) |
| (6) |
| (7) |
| |

[問題 10]

ある物質 A の質量を上皿てんびんで測定し、体積をメスシリンダーで測定した。次の各問いに答えよ。



| 物質名 | 密度(g/cm ³) |
|--------|------------------------|
| アルミニウム | 2.7 |
| 金 | 19.3 |
| 銅 | 9.0 |
| 鉄 | 7.9 |

(1)

(2)

(3)

(4)

- (1) 物質 A の質量をはかるとき、次の分銅が皿にのっている状態で上皿てんびんが釣りあっていたとすると、A の質量は何 g か。
 50g...1 個 20g...2 個 5g...1 個 100mg...1 枚
- (2) 物質 A をメスシリンダーに入れると水面が図のようになった。A の体積はいくらと読めばよいか。ただし、最初にはいていた水の量は 30cm³であった。ただし図のメスシリンダーの 1 目盛りは 1 cm³とする。
- (3) 物質 A の密度はいくらになるか。四捨五入により小数第 1 位まで求めよ。
- (4) 右の表から考えてこの物質 A は何からできている物だと考えられるか。

[問題 11]

次の各問いに答えよ。

| 固体 | 密度 |
|--------|------|
| 氷(0°C) | 0.92 |
| アルミニウム | 2.69 |
| 鉄 | 7.86 |
| 銅 | 8.93 |

- (1) 表のうち、水に浮く物質は何か。
- (2) 表中の物質を同じ体積で比べたとき、もっとも重い物質はどれか。
- (3) 鉄 10g と銅 10g の体積を比べたとき体積が大きいのはどちらか。

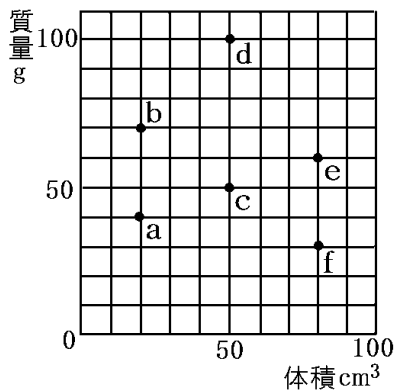
(1)

(2)

(3)

[問題 12]

次の各問いに答えよ。



- (1) a~f の中で水の密度とちょうど同じものがある。どれか。
- (2) a~f の中で水に浮くものはどれか。
- (3) 密度がもっとも小さいものはどれか。
- (4) 同じ質量で体積がもっとも小さいものはどれか。
- (5) 同じ物質からできているのはどれとどれか。

(1)

(2)

(3)

(4)

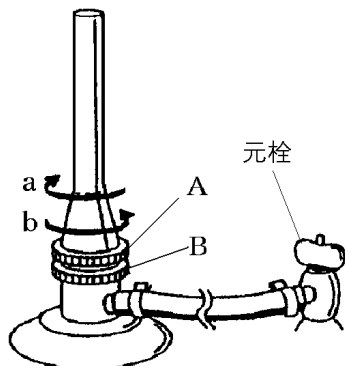
(5)

【】 有機物と無機物・プラスチック

[ガスバーナーの操作]

[問題 13]

ガスバーナーの操作について、次の各問いに答えよ。

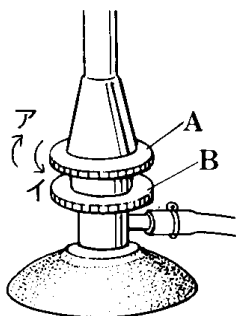


| |
|-----|
| (1) |
| (2) |
| (3) |
| (4) |
| (5) |
| (6) |

- (1) ガスを出すには、A、B どちらのねじを、a、b のどちらにまわしたらよいか。
- (2) 空気の量を増やすには、A、B どちらのねじを、a、b のどちらにまわしたらよいか。
- (3) 点火するときの順に、下記のア～オの操作を並べよ。
ア 元栓を開く。
イ ガス調節ねじを少しずつ開く。
ウ マッチに火をつける。
エ 空気調節ねじを回して、空気の量を調節する。
オ ガス調節ねじと空気調節ねじが閉まっていることを確認する。
カ マッチの火を近づけて点火する。
- (4) 炎の色が何色になるように空気調節ねじを調整するか。
- (5) 空気調節ねじを回して、空気の量を調節するとき、ガス調節ねじはどのようにしておくよいか。
- (6) ガスを消すときの順に、次のア～ウの操作を並べよ。
ア B のねじを閉める
イ 元せんを閉める
ウ A のねじを閉める

[問題 14]

ガスバーナーの操作について、次の各問いに答えよ。



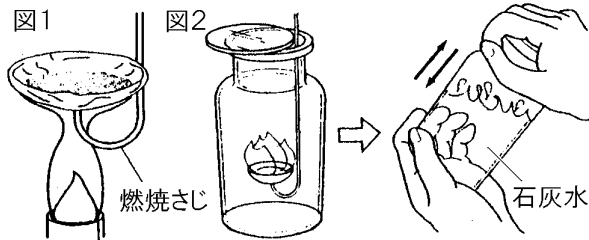
- (1) 点火するときの操作について、
- ① 点火するとき、ガス調節ねじ、空気調節ねじのどちらを先に開くか。
 - ② マッチに火をつけてガスバーナーに点火するとき、どのように近づけるか。
- (2) 炎の大きさや色を調整する操作について、
- ① 炎が大きすぎるとき、A、B のどちらをア、イのどちらへ回したらよいか。
 - ② はじめに火がついたときの炎の色は何色か。
 - ③ ②のとき、A、B のどちらをア、イのどちらへ回したらよいか。
 - ④ ③で炎が何色になるように調節したらよいか。
 - ⑤ 試験管などをかざしたとき、すすがつくのは、②のときか、④のときか。
 - ⑥ 空気の量を調節するため空気調節ねじを回していたら、空気を入れすぎたために火が消えてしまった。このとき、まずしなければならないことは何か。
 - ⑦ ガスバーナーの炎を小さくするときに、最初にすることは何か。

| |
|------|
| (1)① |
| ② |
| (2)① |
| ② |
| ③ |
| ④ |
| ⑤ |
| ⑥ |
| ⑦ |

[有機物の加熱]

[問題 15]

図 1 のように加熱し、図 2 のように火のついた物質について、石灰水のようなすを調べた。次の各問いに答えよ。



| |
|-----|
| (1) |
| (2) |
| (3) |
| (4) |
| (5) |
| (6) |

(加熱した物質：砂糖，食塩，小麦粉)

- (1) 砂糖，食塩，小麦粉のうち，図 1 のように加熱したとき黒くこげた物質はどれか。
- (2) 3 つの中で火がついた物質を図 2 のようなビンの中で燃やした後，すばやくふたをし，そこに石灰水を少量入れ再びふたをして振った。石灰水はどのように変化したか。
- (3) 石灰水が(2)のように変化するのは何という気体が発生したためか。
- (4) 黒くこげたり(3)の気体を出したりするのは，物質の中に何が含まれているからか。
- (5) (4)を含み，黒くこげたり，(3)の気体を出したりする物質を何というか。
- (6) (4)をふくまず，加熱しても(3)の気体を発生せず，黒くこげることもない物質をまとめて何というか。

[問題 16]

次の物質のうち有機物はどれか。すべて書き出せ。

糖 鉄 食塩 ろう アルミニウム ガラス 紙
 プラスチック 水 エタノール ポリエチレン
 石灰石 銅 硫黄 小麦粉 食パン 二酸化炭素

[白い粉末の判別]

[問題 17]

白い粉末 A～C がある。これらを区別するために、次の実験をおこなった。ただし、A～C の粉末は砂糖、食塩、デンプンのいずれかである。次の各問いに答えよ。

(実験)

それぞれの粉末の『手ざわり』『水へのとけ方』『熱したときのようす』を調べて表にまとめた。

| |
|------|
| (1)① |
| ② |
| (2)A |
| B |
| C |

| | 手ざわり | 水へのとけ方 | 熱したときの様子 |
|---|----------|--------|----------|
| A | すべすべしている | とけない | ② |
| B | さらさらしている | ① | こげて炭ができる |
| C | ざらざらしている | とける | 変わらない |

- (1) 表の空欄の①, ②の結果を書け。
 (2) A～C の物質は何か。それぞれ名称を答えよ。

[プラスチック]

[問題 18]

次の各問いに答えよ。

- (1) 次の文の①には適語を入れ、②は()内より適語を選べ。
 ほとんどのプラスチックは(①)を精製して得られるナフサという物質を原料としているため、
 ②(有機物/無機物)に分類される。
- (2) プラスチックを燃やすと、共通して発生する気体は何か。
- (3) プラスチックはむやみに燃やしてはいけない。その理由を答えよ。

| |
|------|
| (1)① |
| ② |
| (2) |
| (3) |

[問題 19]

次のア～オからプラスチックの性質にあてはまるものをすべて選べ。

| |
|--|
| |
|--|

- ア さびたりくさったりしない。
- イ 電流をよく通す。
- ウ 燃えるものが多い。
- エ おもに石油から人工的につくられる。
- オ たたくとうすく広がる。

[問題 20]

次の文章の①～④に適切な語句を入れよ。

プラスチックでできたペットボトルのキャップと本体を水に入れると、キャップは水に(①)が、本体は水に(②)。これは、本体が



(③)という種類のプラスチックでできているのに対し、キャップは(④)という種類のプラスチックからできているため、性質が異なるからである。

| |
|---|
| ① |
| ② |
| ③ |
| ④ |

| |
|--|
| |
|--|

【】 気体の性質

[気体の発生方法]

[問題 21]

次の各問いに答えよ。

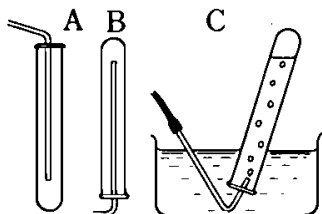
- (1) 石灰石に塩酸を加えるときに発生する気体は何か。
- (2) 亜鉛にうすい塩酸を加えたときに発生する気体は何か。
- (3) 二酸化マンガンをうすい過酸化水素水(オキシドール)を加えたときに発生する気体は何か。
- (4) 塩化アンモニウムと水酸化カルシウムを混ぜて加熱したときに発生する気体は何か。
- (5) お湯に発泡入浴剤をいれたとき発生する気体は何か。

| |
|-----|
| (1) |
| (2) |
| (3) |
| (4) |
| (5) |

[気体の捕集法]

[問題 22]

次の各問いに答えよ。



- (1) 水にとけにくい気体を集めるときは何という捕集法を使うか。またそれは図A, B, Cのどの方法か。
- (2) 水にとけやすく、空気より重い気体を集めるときは何という捕集法を使うか。またそれは図 A, B, Cのどの方法か。
- (3) 水にとけやすく、空気より軽い気体を集めるときは何という捕集法を使うか。また、それは図 A, B, Cのどの方法か。

| |
|-----|
| (1) |
| (2) |
| (3) |

| |
|--|
| |
|--|

[問題 23]

次の気体は ①水にとけるか、②空気より重いか軽い
か、③捕集法は何か。

- (1) 酸素
- (2) 水素
- (3) 二酸化炭素
- (4) アンモニア

| |
|------|
| (1)① |
| ② |
| ③ |
| (2)① |
| ② |
| ③ |
| (3)① |
| ② |
| ③ |
| (4)① |
| ② |
| ③ |

[各気体の性質]

[問題 24]

酸素、水素、二酸化炭素、アンモニアについて、次の
各問いに答えよ。

- (1) 火のついた線香を近づけると線香が燃え上がる気
体は何か。
- (2) 火を近づけると「ポン」と音を出して燃える気体は
何か。
- (3) 石灰水に通すと石灰水が白くにごる気体は何か。
- (4) ①においのある気体はどれか。②また、どのような
においか。
- (5) 水に非常によくとける気体は何か。
- (6) 水にとかしたときにアルカリ性をしめす気体はど
れか。
- (7) 水にとかしたときに酸性をしめす気体はどれか。

| |
|------|
| (1) |
| (2) |
| (3) |
| (4)① |
| ② |
| (5) |
| (6) |
| (7) |

[問題 25]

酸素，二酸化炭素，水素，アンモニア，塩素，窒素について，次の各問いに答えよ。

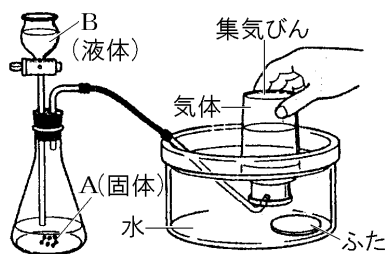
- (1) 気体の重さが空気とほぼ同じものを 2 つあげよ。
- (2) 空気中の約 8 割をしめる気体をあげよ。
- (3) 気体の色が黄緑色の気体を 1 つあげよ。
- (4) 漂白作用のある気体を 1 つあげよ。
- (5) 下方置換法でも水上置換法でも集めることができる気体を 1 つあげよ。
- (6) 水上置換法で集められない気体を 1 つあげよ。

| |
|-----|
| (1) |
| (2) |
| (3) |
| (4) |
| (5) |
| (6) |

[酸素]

[問題 26]

次の図のようにして酸素を発生させた。各問いに答えよ。



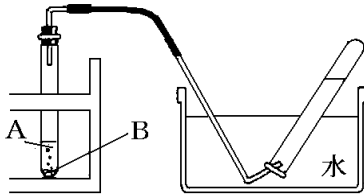
- (1) A(固体)，B(液体)には何をを使えばいいか。
- (2) 図の装置で気体を集めるとき，気体が発生し始めてからしばらくして試験管に集めるようにしなければならない。その理由を簡単に説明せよ。
- (3) 図のような水上置換法すいじょうちかんほうで集めることができるのは，酸素にどのような性質があるためか。
- (4) 酸素であることを確かめる方法を説明せよ。

| |
|------|
| (1)A |
| B |
| (2) |
| (3) |
| (4) |

[水素]

[問題 27]

次の図のような方法で、水素を発生させてその性質を調べた。各問いに答えよ。



- (1) A(液体), B(固体)にあてはまる物質を次の[]の中から1つずつ選べ。

[マグネシウムリボン 二酸化マンガン 石灰石
うすい塩酸 食塩 オキシドール]

- (2) この集め方は水素のどのような性質を利用したものか。次から1つ選べ。

[空気より重い 空気より軽い 水にとけにくい
水にとけやすい]

- (3) ①水素は酸素と混じり合った状態でマッチの火を近づけるとどうなるか。②また、そのときにできる物質は何か。
- (4) ①(3)でできた物質を検出するための試薬は何か。
②また、その試薬は何色に変わるか。

(1)A

B

(2)

(3)①

②

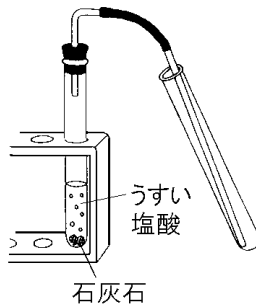
(4)①

②

[二酸化炭素]

[問題 28]

右の図のような装置で、石灰石にうすい塩酸を入れ、発生する気体を集めた。以下の各問いに答えよ。



- (1) 試験管に集まる気体は何かを調べる方法を次から選べ。

- ア においをかぐ
- イ 石灰水を入れてふる
- ウ 火のついた線香を試験管内に入れる
- エ マッチの火を試験管の口に近づける

- (2) (1)の方法で調べるとこの気体は何であることがわかるか。
- (3) この気体を図のようにして集めることができるのは、どのような性質があるためか。
- (4) この気体を別の方法で集めるとすると、どの方法がよいか。

[水上置換法 下方置換法 上方置換法]

- (5) この実験で発生した気体を別の方法で得るには、どの物質の組み合わせがよいか。2つ選べ。
- ア 過酸化水素水と二酸化マンガン
 - イ 亜鉛とうすい塩酸
 - ウ 貝がらとうすい塩酸
 - エ お湯に入浴剤を入れる
- (6) この気体を集めた試験管に水を入れ、試験管の口に小さいゴム風船をつけてよく振ると、ゴム風船が中に吸い込まれた。これは、この気体のどのような性質が原因で起こったか。

(1)

(2)

(3)

(4)

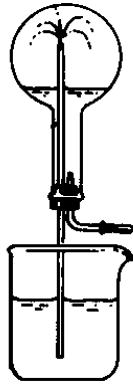
(5)

(6)

[アンモニア]

[問題 29]

アンモニアを集めたフラスコの中に
スポイトで少量の水を入れたところ、ビ
ーカーの水がいきおいよく飛び出し色
が変化した。ビーカーの中にはフェノー
ルフタレイン溶液が入れている。



- (1) ビーカーの水がいきおいよく飛び出したのはアンモニアにどのような性質があるためか。
- (2) フラスコ内に入ったビーカーの水は何色に変わるか。
- (3) (2)のようにビーカーの水の色が変化するの、アンモニア水にどのような性質があるためか。
- (4) アンモニアは水上置換法では集められない。その理由を説明せよ。
- (5) ①アンモニアは上方置換法、下方置換法のどちらの方法で集めるか。②また、それはアンモニアにどのような性質があるためか。

(1)

(2)

(3)

(4)

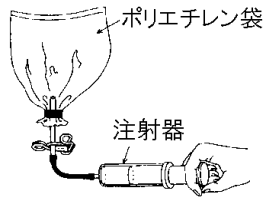
(5)①

②

[気体の判別]

[問題 30]

気体 A～D は、二酸化炭素、水素、アンモニア、酸素のいずれかである。次の実験結果から A～D の気体が何かを答えよ。



(実験)図のようにポリエチレン袋の中に気体を入れ、注射器で少量の水を注入したところ、Aの気体は袋の体積が大幅に減少し、Cの気体はわずかに体積が減少した。BとDの場合は、体積の変化はなかった。

(実験)各気体を水溶液にしたものに BTB 液を加えたところ、A は青色、C は黄色に変化し、B と D は変化が見られなかった。

(実験)火を近づけたところ、気体 D が「ポン！」と音を出して燃えた。

| |
|---|
| A |
| B |
| C |
| D |

[問題 31]

5 種類の無色の気体 A～E がそれぞれ 5 個の集気びんに別々に入っている。A～E は、アンモニア、水素、酸素、窒素、二酸化炭素のいずれかである。これらの気体について次の実験をした。A～E の気体はそれぞれ何か。気体名を答えよ。

(実験 1) B, E は、水にとけた。B のとけた水は、赤いリトマス紙を青く変えた。

(実験 2) A と D を混合した気体に火花を飛ばしたら A が燃えて水ができた。

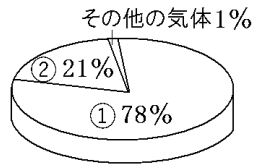
(実験 3) E を石灰水に通したら白くにごった。

| |
|---|
| A |
| B |
| C |
| D |
| E |

[空気その他]

[問題 32]

右の図は乾燥した空気にくまられる気体の割合を示したものである。①, ②の気体名をそれぞれ書け。



| |
|---|
| ① |
| ② |

[問題 33]

次の①～⑤の気体を下の[]からそれぞれ選べ。

- ① 天然ガスの主成分である気体。
- ② 火山ガスの成分の1つで、温泉のような特有のにおいがある気体。
- ③ 色はないが刺激臭をもち、水にとけると水溶液は酸性を示す気体。
- ④ 黄緑色であり、水道水の消毒などに利用されている気体。
- ⑤ 食品が変質するのを防ぐために、ポテトチップスなどの袋に詰められている気体。

| |
|---|
| ① |
| ② |
| ③ |
| ④ |
| ⑤ |

[酸素 塩素 窒素 硫化水素 塩化水素 メタン]

| |
|--|
| |
|--|

[問題 34]

次の文中の①～③にあてはまる語を答えよ。

漂白剤や洗剤には「まぜるな危険」と表示されているものがある。「(①)系」と書かれた漂白剤にふくまれる次亜塩素酸ナトリウムという物質と、「(②)タイプ」と書かれた洗剤にふくまれる塩酸を混ぜ合わせると、有毒な気体である(③)が発生するからである。



| |
|---|
| ① |
| ② |
| ③ |

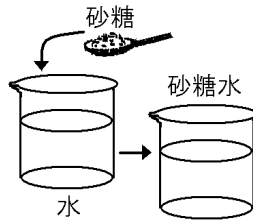
| |
|--|
| |
|--|

【】 水溶液の性質

[水溶液の性質]

[問題 35]

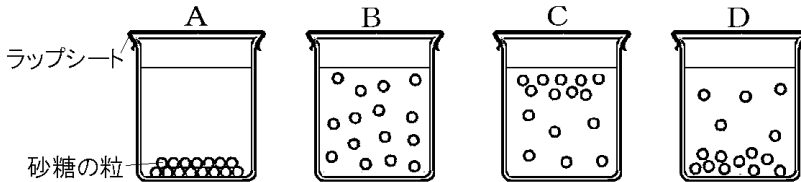
右の図のように、水に砂糖をとかして砂糖水をつくった。次の各問いに答えよ。



(1) 砂糖がすべてとけた後、砂糖の粒はどうなっているか。

下の A~D から 1 つ選べ。

(2) (1)の水溶液を 3 日間放置したとき、砂糖の粒のようすはどうなっているか。下の図の A~D から 1 つ選べ。



(3) 砂糖のような物質は粒子が集まってできているが、これを水に加えると、水が砂糖の粒子と粒子との間に入り込み、砂糖の粒子は均一に散らばっていく。粒子 1 つ 1 つは目には見え(①)ので水溶液は(②)である。また、砂糖がすべてとけると、どの部分も、濃さは(③)になる。

| |
|------|
| (1) |
| (2) |
| (3)① |
| ② |
| ③ |

| |
|--|
| |
|--|

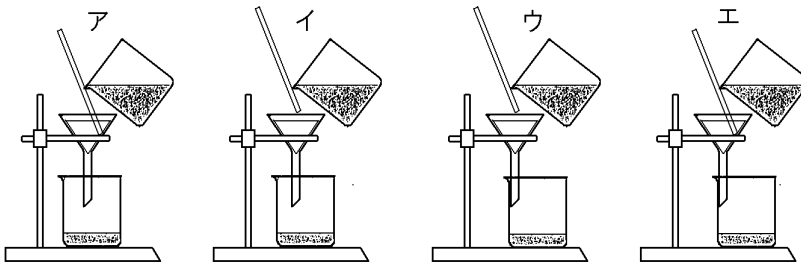
| |
|--|
| |
|--|

[ろ過]

[問題 36]

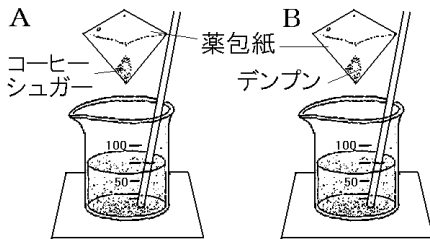
正しいろ過のしかたを次のア～エから 1 つ選べ。

| |
|--|
| |
|--|



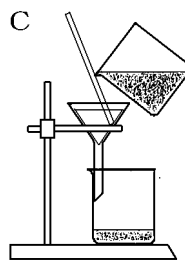
[問題 37]

次の図のように、水の入ったビーカー A, B にコーヒーシュガーとデンプンを入れてよくかき混ぜた。各問いに答えよ。



| |
|------|
| (1) |
| (2)A |
| B |
| (3) |
| (4) |
| (5) |

- (1) 液が透明になるのは、A, B のどちらか。
- (2) A, B で、かき混ぜた後の薬包紙をふくめた全体の質量は、水に加える前の全体の質量と比べて、それぞれどうなっているか。
- (3) C のような操作を何というか。
- (4) C の操作でろ紙の上には何か残るのは、A, B のどちらか。



| |
|--|
| |
|--|

[溶質・溶媒・溶液]

[問題 38]

砂糖を水にとかすと砂糖水ができる。

- (1) 砂糖のように、とけている物質を何というか。
- (2) 水のように、とかしている液体を何というか。
- (3) (1)が(2)に溶けた液全体を何というか。
- (4) (2)が水である(3)を何というか。
- (5) 次の①～③について(1)をそれぞれ答えよ。

① 食塩水 ② 炭酸水 ③ 塩酸

| |
|------|
| (1) |
| (2) |
| (3) |
| (4) |
| (5)① |
| ② |
| ③ |

[純粋な物質と混合物]

[問題 39]

次の各問いに答えよ。

- (1) 水や二酸化炭素などのように、1種類の物質でできているものを何というか。
- (2) 砂糖水のように、いくつかの物質が混じり合ったものを何というか。

| |
|-----|
| (1) |
| (2) |

[溶液の濃度]

[問題 40]

次の各問いに答えよ。

- (1) 100g の水に砂糖が 25g とけている。この砂糖水の質量パーセント濃度を求めよ。
- (2) 質量パーセント濃度が 20% の食塩水 150g をつくるためには、①何 g の食塩を、
②何 g の水にとかしたらよいか。
- (3) 質量パーセント濃度が 10% の砂糖水 180g に砂糖を 20g 加えた。このときの質量パーセント濃度を求めよ。
- (4) 質量パーセント濃度が 10% の砂糖水 400g に、水を 1600g 加えたときの砂糖水の質量パーセント濃度を求めよ。

| |
|------|
| (1) |
| (2)① |
| ② |
| (3) |
| (4) |

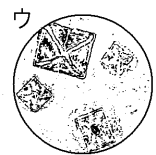
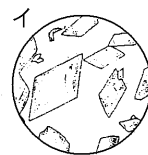
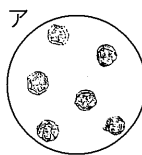
[溶解度と再結晶]

[問題 41]

次の各問いに答えよ。

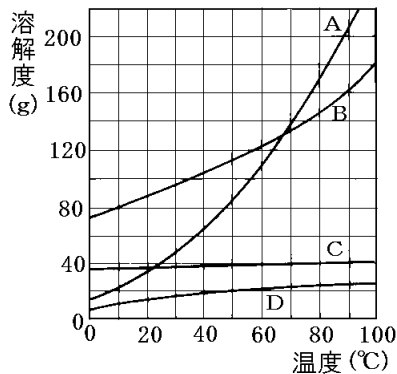
- (1) 一定の水にとかすことのできる物質の量の限度を何とよいか。
- (2) 溶質が固体の場合、(1)の量は温度が高くなるにつれてどうなるか。
- (3) とかすことのできる限度いっぱい量の物質をとけている水溶液を何とよいか。
- (4) 固体を一度水にとかしてから、温度を下げて、ふたたび固体として取り出すことを何とよいか。
- (5) いったん水にとけた物質が、水溶液から固体となつてでてくる時の規則正しい形をした固体を何とよいか。
- (6) 食塩、硫酸銅、ミョウバンの(5)の個体は、それぞれ右図のア～ウのどれか。

| |
|--------------------------------|
| (1) |
| (2) |
| (3) |
| (4) |
| (5) |
| (6)食塩： |
| <small>りゅうさんどう</small> 硫酸銅： |
| ミョウバン： |



[問題 42]

次のグラフはA～Dの溶解度(100gの水にとける質量)を示したものである。



(1)

(2)

(3)

(4)

(5)

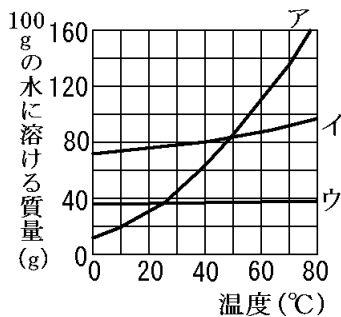
(6)

(7)

- (1) 60°CにおけるAの溶解度を求めよ。
- (2) 50°Cのとき100gの水にもっとも多くとけるのはA～Dのうちのどれか。
- (3) A～Dをそれぞれ100°Cの熱湯に20gずつとかけた。これらを0°Cまで冷やしたとき、結晶として出てくるのはどれか。すべてあげよ。
- (4) Bを50gの水にとかして75°Cで飽和水溶液になるようにした。これを35°Cまで冷却すると、何gの結晶が出てくるか。
- (5) A～Dをそれぞれ100gの水にとかして90°Cで飽和水溶液になるようにした。これを20°Cまで冷却したとき、結晶の析出量が最も少ないのはどれか。
- (6) いったん温度の高い水にとかした物質を、再び結晶としてとり出すとき、水溶液の温度を下げる方法が適さない物質はA～Cのうちのどれか。
- (7) (6)の物質を結晶として多くとり出すには、どのような方法が考えられるか。

[問題 43]

30°Cの水 100gが入った 2 つのビーカーに、食塩と硝酸カリウムをそれぞれ 60gずつ入れてかき混ぜたところ、どちらもとけ残った。次に、水の温度を 60°Cにしたところ、食塩は 30°Cのときとほぼ同じ程度とけ残ったが、硝酸カリウムは全部溶けた。以下の各問いに答えよ。



- (1) 一般に、100g の水に溶ける物質(固体)の量は、温度が高いほどどうなるか。[]から 1 つ選べ。
[少なくなる。 変わらない。 多くなる。]
- (2) グラフは 3 種類の物質について、100g の水に溶ける質量と水の温度との関係を表したものである。食塩と硝酸カリウムのグラフをア～ウから 1 つずつ選べ。
- (3) 結晶としてとり出しやすいのは、食塩と硝酸カリウムのどちらか。
- (4) (3)のように物質を一度水に溶かしてから、再び固体としてとり出すことを何というか。

(1)

(2)食塩：

硝酸カリウム：

(3)

(4)

【】物質の姿と状態変化

[物質の状態変化]

[問題 44]

物質の変化について次の各問いに答えよ。

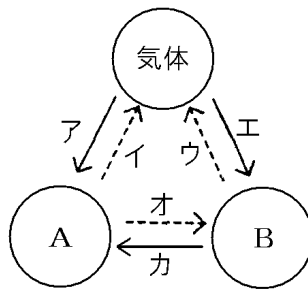


- (1) 図に表されたような物質の変化を何変化というか。
- (2) 加熱したときに起こる変化はどれか。a~d よりすべて選び記号で答えよ。
- (3) 次のア~ウは、それぞれ a~d のどの変化か。
 ア 冷たいジュースの入ったコップのまわりにしばらくすると水滴がついた。
 イ 天気の良い日は洗濯物がよく乾く。
 ウ かたまっていたろうを加熱すると、とけた。
- (4) 物質の状態が変化したとき質量は変化するか。
- (5) 体積が非常に大きくなる変化はどれか。a~d より選び記号で答えよ。

| |
|------|
| (1) |
| (2) |
| (3)ア |
| イ |
| ウ |
| (4) |
| (5) |

[問題 45]

右の図は、加熱、冷却によって物質の状態が変化する様子を模式的に表したものである。次の各問いに答えよ。

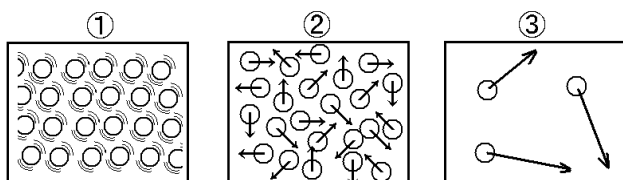


- (1) 図の実線の矢印は、加熱、冷却のどちらを表しているか。
- (2) 図の A, B は、それぞれどのような状態か。
- (3) ドライアイスを実験中に放置しておいたときの変化を表す矢印を、図のア~カから選べ。
- (4) 状態変化をしても変化しないものは、質量、体積、密度のうちのどれか。

| |
|------|
| (1) |
| (2)A |
| B |
| (3) |
| (4) |

[問題 46]

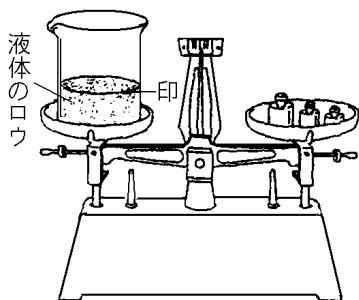
図の○は物質をつくる粒子を表している。それぞれの図は気体、液体、固体のどれか。



| |
|---|
| ① |
| ② |
| ③ |

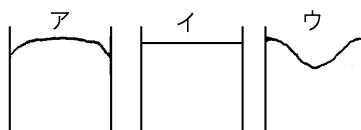
[問題 47]

次の図のように、固体のろうをビーカーに入れてあたたためて液体にし、液面に印をつけておき、ビーカーと液体のろうの質量をはかった。次に、これを冷やして固体のろうにし、質量をはかった。各問いに答えよ。



| |
|-------|
| (1)① |
| ② |
| (2)① |
| ② |
| (3) |
| (4)水： |
| ろう： |

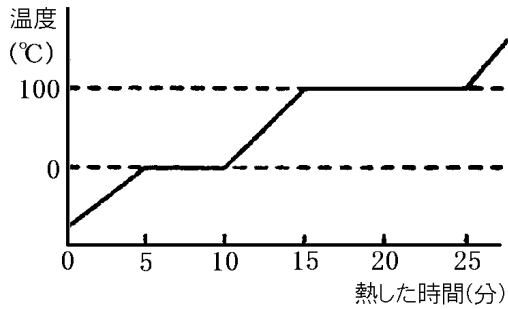
- 液体のろうが固体のろうになったとき、①体積、②質量はどうなるか。
- 水の場合、液体から固体になったとき、①体積、②質量はどうなるか。
- この変化で物質そのものも別の物質に変化するか。
- 水と、ろう(加熱して液体にしたもの)を冷やし、固体にしたときの、それぞれの表面のようすを、右のア～ウから選べ。



[融点と沸点]

[問題 48]

次のグラフは固体のある物質 10g をビーカーに入れて加熱していったときの温度変化を表している。各問いに答えよ。



- (1) この物質は何か。
- (2) 図の 0°C の温度を何というか。
- (3) 図の 100°C の温度を何というか。
- (4) 加熱を始めてから 8 分後、ビーカー内はどのような状態か。次の[]から 1 つ選べ。
[すべて固体 すべて液体 すべて気体
固体と液体 液体と気体]
- (5) 沸騰が始まったのは何分後か。
- (6) 他の条件はそのまま、この物質を 30g にして実験をした場合、沸騰が始まるのは何分後か。

(1)

(2)

(3)

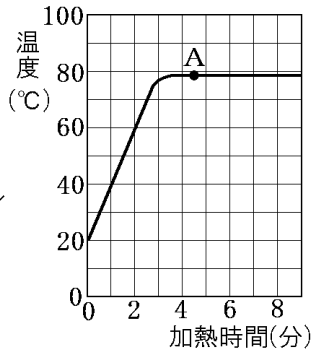
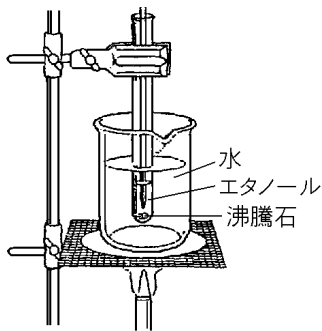
(4)

(5)

(6)

[問題 49]

次の図は、エタノールを試験管に入れ、熱湯の中に入れて加熱するようすと、加熱時間と温度のグラフである。各問いに答えよ。



(1) エタノールの沸点は何℃といえるか。次の[]から1つ選べ。

[58℃ 68℃ 78℃ 88℃ 100℃]

(2) グラフの点Aのエタノールは、()である。()にあてはまる語句を次の[]から1つ選べ。

[すべて液体 すべて気体
気体と液体が混じった状態
液体と固体が混じった状態]

(3) 沸騰し始めたのは加熱してからおよそ何分後か。

(4) エタノールの質量を2倍にして同じ実験を行うと①沸点はどうなるか。②また、沸騰するまでの時間はどうか。

(5) エタノールを直接、ガスバーナーなどで加熱しないのはなぜか。理由を簡潔に説明せよ。

(6) 試験管の中に沸騰石を入れるのはなぜか。理由を簡潔に説明せよ。

(1)

(2)

(3)

(4)①

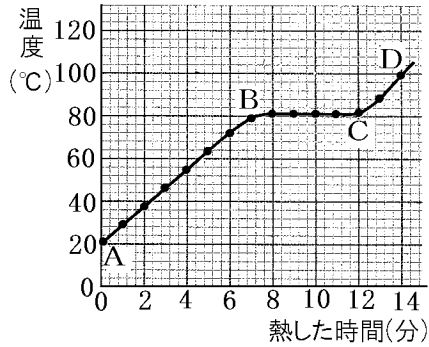
②

(5)

(6)

[問題 50]

次のグラフは、ナフタレンを加熱したときの温度変化を表している。各問いに答えよ。



- (1) ナフタレンがとけ始めたときの温度はおよそ何℃か。次の[]から選べ。

[40℃ 60℃ 50℃ 80℃ 100℃]

- (2) (1)の温度をナフタレンの何というか。

- (3) AB, BC, CD 間ではそれぞれどんな状態か。次の[]からそれぞれ選べ。

[気体 固体 液体 液体と気体 液体と固体]

(1)

(2)

(3)AB :

BC :

CD :

[問題 51]

次の表は、5種類の物質の融点と沸点を示している。
各問いに答えよ。

| 物質 | 融点(°C) | 沸点(°C) |
|---------|--------|--------|
| 鉄 | 1536 | 2863 |
| 水銀 | -39 | 357 |
| 塩化ナトリウム | 801 | 1485 |
| エタノール | -115 | 78 |
| パルミチン酸 | 63 | 360 |

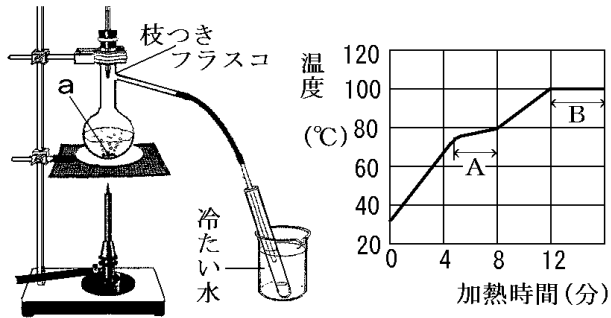
| |
|-----|
| (1) |
| (2) |
| (3) |
| (4) |

- (1) -100°C で、液体の状態の物質はどれか。
- (2) 90°C で、気体の状態の物質はどれか。
- (3) 900°C で、固体の状態の物質はどれか。
- (4) 900°C で、液体の状態の物質はどれか。

[蒸留]

[問題 52]

エタノールと水の混合液を図のような装置を使って加熱した。



- (1) ①図の a は何とよばれるものか。②また、それを入れるのはなぜか。
- (2) 図のように、出てくる気体を冷やしてふたたび液体としてとり出す方法を何というか。
- (3) この方法で混合物を分けることができるのは、混合物の成分の何の違いによるか。
- (4) エタノールを多くふくんだ液体をとり出すことができるのは、グラフの A, B のうちのどちらか。

(1)①

②

(2)

(3)

(4)

[問題 53]

エタノールと水の混合液を図のような装置を使って加熱した。

図1

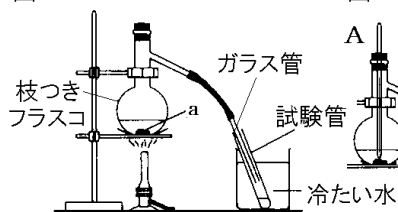


図2

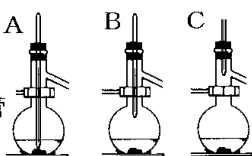
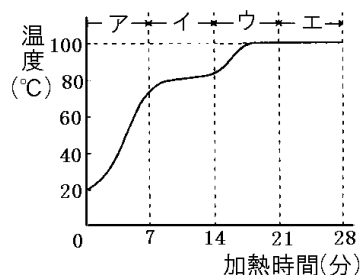


図3



- (1) 温度計を図1の枝つきフラスコに取り付ける場合、取り付け位置はどのようにしたらよいか。図2のA～Cから1つ選べ。
- (2) 冷たい水を入れておく理由は何か。
- (3) フラスコ内、試験管で起こる物質の変化は次のどれになるか。それぞれ1つずつ選び番号で答えよ。
 ① 固体から液体 ② 液体から気体 ③ 気体から液体 ④ 液体から固体
- (4) 最初に沸騰が始まったのは何分後か。
- (5) エタノールと水では、どちらの沸点が低いか。
- (6) ①図3のイで出てきた気体を冷やして試験管にたまった液体を手の甲につけるとどんな感じがするか。
 ②また、火をつけたときどのようなようになるか。
- (7) (6)より、図3のイでさかんに出てくる気体は主として何か。
- (8) 図3のウで再び温度が上昇しているが、これはなぜか。
- (9) 図3のエで試験管にたまるたまる液体は何か。
- (10) この実験で、火を消すときに注意しなければならないことを簡単に説明せよ。

| |
|--------------------|
| (1) |
| (2) |
| (3)フラスコ内： 試験管内： |
| (4) |
| (5) |
| (6)① |
| ② |
| (7) |
| (8) |
| (9) |
| (10) |

[印刷／他のPDFファイルについて]

※ このファイルは、FdText 理科(9,600 円)の一部を PDF 形式に変換したサンプルで、印刷はできないようになっています。製品版の FdText 理科は Word の文書ファイルで、印刷・編集を自由に行うことができます。

※ FdText(英語・数学・社会・理科・国語)全分野のPDFファイル、および製品版の購入方法は<http://www.fdtype.com/txt/> に掲載しております。

※ 弊社は、FdText のほかに FdData 中間期末過去問(数学・理科・社会)(各 18,900 円)を販売しております。PDF 形式のサンプル(全内容)は、<http://www.fdtype.com/dat/> に掲載しております。

※ [FdData 無料閲覧ソフト(RunFdData)]を、Windows のデスクトップ上にインストールすれば、FdData 中間期末の全 PDF ファイルを自由に閲覧できます。次のリンクを左クリックするとインストールが開始されます。

【 <http://fddata.deci.jp/lnk/instRunFdDataWDs.exe> 】

※ダイアログが表示されたら、【実行】ボタンを左クリックしてください。インストール中、いくつかの警告が出ますが、【実行】[許可する][次へ]等を選択します。

【Fd教材開発】(092) 404-2266

<http://www.fdtype.com/dat/>